

令和5年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

安浦中学校区 校番 24 学校名 呉市立安浦中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標, 指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校の使命, ビジョンともに町内の生徒にとって重要課題であり適切である。 毎年入学してくる生徒の身に付けている力が違うので大変であると感じる。人を相手にすることの大事さ, よく頑張っていると思う。
目標達成のための方策の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> 学力アップが学校の第1目標であり, 現在学力・進路保障目指して進められているところと見える。 いろいろな目標達成のための方策があると思うが, 学校全体, 生徒全体を考え作られていると思う。常にもっといい方策を考え, 実行していただくためBとした。 教員の働き方改革で中間報告での評価がCでは目標達成が難しいため方策の見直しが必要である。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> いろいろと分析し数字(%)に成果を表しているが, とても難しいです。努力が伺えます。 適切に評価されている。 引き続き年度末を目指して努力してほしい。
今後の改善策(案)の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒同志が学級集団の中でいかに変革するかが楽しみです。良い方向に見えます。 改善策において学校の現状をふまえ, 分析され改善策を作られたと思いますが, もっといい方法があるのではないかと向上していくためBとしました。 学校での指導では限界があるので, 保護者との連携を強化する対策を具体化してください。 一年生の学力が少し心配に思われます。中学での学力向上の為に各小学校との連携が大切だと思います。
その他		<ul style="list-style-type: none"> 学校行事等が多く, 休むことなく頑張っておられます。健康に留意されて下さい。 「自分が住んでいる地域が好き」と言っている生徒が多くいることに感激です。どうして好きなのか知りたいです。自分の住んでいる地域のことをもっと知ってほしい, 歴史, 地名由来, 地域の行事, 文化, 風習など今ならまだ知っている老人もいる。ここ2~3年で古いことを知っている人がいなくなると思っています。昔のことを知ることで防災につながる学習もできると思います。もっと地域が好きになると思っています。 2018年の西日本豪雨から5年が過ぎました。記憶が薄れつつある昨今ですが, 「天災は忘れたころにやってくる」と言われます。引き続き防災教育で安浦で何が起きたかを伝えて日々の備えをご指導ください。 多感な年代なので気付かない内に言葉や態度にイジメの種がまかれています。生徒との対話や行動をいろいろな角度から観察して行って下さい

※ 評価は, A(とても適切), B(概ね適切), C(あまり適切でない), D(まったく適切でない), N(分からない)

学校関係者評価を受けての 今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> 最初に授業を参観していただき, 概ね好評であった。その後, 今年度の重点課題について, アンケート分析をもとに考察した課題を評価していただいた。特に学力向上については思考力・判断力・表現力は学力調査等において課題がある。本年度も研究部を中心に, 小中で連携しパフォーマンス課題を設定した単元づくりと根拠に基づいて自分の考えを持ち, 自らの考えを広げ深める「学びあい」を位置付けた授業改善を進めるとともに, ICTの活用等にさらに取り組んでいく。 ふるさと学習等を継続し, 地域の歴史, 伝統, 風習を十分理解したうえで, 地域や仲間を愛する豊かな心を育成するよう努めていきたい。また, 「自分の命は自分で守る力」を育成するなど, さまざまな活動の中で, 保護者, 地域, 学校が連携を強化できるように取り組んでいく。
------------------------	---